

公安委員会定例会議の開催状況

第1　日時　　令和7年9月24日（水）午後1時30分から午後4時18分までの間

第2　出席者　前田委員長（司会）・松尾委員・刈谷委員

本部長・警務部長・生活安全部長・刑事部長・交通部長・警備部長・情報通信部長
首席監察官・総務参事官・地域参事官兼人身安全対処参事官・組織犯罪対策参事官

第3　議事の概要

1　委員説示

委員から、「県立の文化施設について高知県が指定管理者の公募方針を示したこと
が議論となっているが、一般論として、公共政策の実現にあたっては、県民に納得し
ていただくためのプロセスを十分に踏まえることが重要である。警察行政も同じであ
り、案件によって関係者や住民との議論を重ね、そのプロセスを通して理解を求める
ければならない。交通事故の分析結果を踏まえて各警察署が半年ごとに打ち出している
「速度取締り指針」などは、事前に警察署協議会において住民の方々に意見を求
めた上で策定しており、適切なプロセスを経ていると言える。今後とも、県民の生活に
大きく影響が出ると予想されるなど議論が必要と認める案件に関しては、現状におけ
る実態をしっかりと分析し、早い段階から関係者や住民に方向性を示して意見を吸
い上げ、施策を推進していただきたい。」旨の説示があった。

説示を受け、警察本部から、「指摘のとおり、政策決定にあたっては、県警察とし
ても県民を納得を得るというプロセスが非常に大事であると認識している。公安委員
会による管理監督を始め、警察署の運営に民意を反映させるための機関である警察署
協議会についても、住民の方々に『警察をコントロールしている』という納得感を持
っていただくための仕組みである。県警察では、5年、10年後の将来を見据えた警察
組織の在り方について検討を進めているところでもあり、今後とも、案件によっては
住民の方々により広く説明を重ねるなど、しっかりと県民の納得を得るプロセスを経
て政策決定してまいりたい。」旨の説明があった。

2　報告事項

(1) 令和7年全国地域安全運動の実施について（資料1）

生活安全部から、令和7年全国地域安全運動の実施について報告があった。

委員から、「高知県の運動重点の1つである『万引き被害の防止』について、入口型犯罪とも呼ばれる万引きは少年の犯行比率が高いものと思っていたが、検挙人員の内訳では、少年よりも成人が圧倒的に多く、また、高齢者の占める割合が比較的大きいとの説明を受け、意外な印象を受けるとともに、熟年層や高齢者への対策が課題であると感じた。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「地元企業の商品とのタイアップなど、県下12警察署が様々な企画を立てており、各署の取組が県民に広く伝わることを期待している。」、「テレビのニュース番組を見ていたところ、侵入窃盗の被害が増加傾向にあるという特集が組まれ、カメラ付きインターホンや屋内用防犯カメラ、タイマー式照明など様々な防犯グッズが紹介されていた。県民の防犯意識が高まりつつある昨今、今回のイベントを通じるなどして、防犯グッズを活用した自己防衛の呼び掛けも行っていただきたい。」旨の発言があった。

(2) 夏期の水難防止対策の実施結果について（資料2）

生活安全部から、夏期の水難防止対策の実施結果について報告があった。

委員から、「水難を防ぐためには、海でも河川でもライフジャケットの着用が基本である。安全面以外でも、ライフジャケットをつけて沢下りを楽しむスポーツがあるなど、水に浮かんで流れるだけでも遊ぶことができ、特に子どもたちにとってライフジャケット着用のメリットは大きい。先日、県西部の川沿いにある道の駅に立ち寄ったところ、軒先にかけられた子ども用のライフジャケットが無料でセルフ貸し出しされており、水難防止への機運の高まりを感じた。ライフジャケットの着用について、引き続き幅広な啓発活動をお願いする。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「水難者の約半数は県外の方が占めているとのことで、高知への旅行を楽しみに訪れた方々も不幸な事故に遭われていると知り、悲しく思う。県外客をターゲットにした水難防止の呼び掛けが今後の大きな課題であり、効果的な施策を検討していただきたい。」、「今回の取組期間中、渓流釣りに出かけたまま行方不明となった男性を警察犬が岩場で発見したとのニュースを拝見したところであり、警察犬の活躍について心強く思う。」旨の発言があった。

(3) 第79期短期初任科卒業式の挙行について（資料3）

警務部から、第79期短期初任科卒業式の挙行について報告があった。

委員から、「学生たちの元気な声による挨拶や凜々しい姿を見ると、いつも身の引き締まる思いがする。期待と不安に胸を膨らませ、現場に向けて新たな一步を踏み出す警察官の明るい未来を願っている。」旨の発言があった。

第4 個別決裁

1 警察職員の援助要求について

警備部から、他県公安委員会からの警察職員の援助要求について説明があり、回答について原案のとおり決定した。

2 公安委員会に対する審査請求に係る審理手続きの終結について

交通部から、公安委員会に対する審査請求に係る審理手続きの終結について説明があり、原案のとおり決定した。

3 公安委員会定例会議の議事録について

公安委員会事務室から、令和7年9月3日に開催した公安委員会定例会議「議事録」について報告があり、了承した。

第5 意見の聴取及び聴聞関係

運転免許センターから、運転免許の行政処分に係る意見の聴取等の結果について報告があり、審議の結果、22件（事故3件、飲酒11件、無免許1件、その他7件）の行政処分を決定した。